

# 閉校記念シンポジウム

## 北神小学校の思い出と風の子の未来を語る会」の記録

平成23年12月8日（木）

於 北神小学校ふれあい広場

### 全体進行

P T A 総務部長 井上 緑

### 開会のあいさつ

実行委員長 古屋 智

### シンポジスト紹介

校長 山崎 敏

### シンポジスト

第一期卒業生 卒業番号1）伊藤 久 氏

第十七代校長（H17〜19）石山憲二 氏

第十三代 P T A 会長 鈴木和栄 氏

六年生 卒業番号 17750 最終）渡邊真捺 さん

### 「キーネーター」

・現職員（昭和52年度卒業生）黒川修二 氏



### 開会のあいさつ

古屋 智

今年には春から色々な記念事業を実施してきました。今日は北神小学校にゆかりのある方々をお迎えしてシンポジウムを行います。会の中にはフリートークもありますので、みなさんにもたくさん自分の思い出を語っていただき、一人一人の心に北神小学校の思い出しっかりと残る会にしていきたいと思っております。

### 第一部 北神小学校の思い出 在学在任当時の話を振り返る

【黒川】 これから第一部を始めます。現在六年生の真捺さんは、どんなことが思い出に残っていますか。

【真捺】 私の思い出は修学旅行と保呂羽山とバスケットの大会です。台風が来ている中、修学旅行に行きました。修学旅行では台風で傘がこわれてしまいました。バスケットの大会では、5年生のとき全県大会で優勝し、東北大会に出場できたことがうれしかったです。六年生になってからは神宮寺小学校と合同で練習をしています。

【黒川】 六年生の他のみなさんは何か思い出はありますか。未来さん、どうですか。

【未来】 ベニランドのバイラットは体が浮くようでおもしろかったです。保呂羽山のナイトハイクは先生達がおどかしたので、ドキドキしました。カレーを作って食べておいしかったです。

【黒川】 楽しい思い出がたくさんあったようですね。久しぶりに北神小学校においでになった石山さんにも思い出をお話し

してもらいましょう。お願いします。

【石山】 久しぶりに北神小学校に来ました。船の形をした北神小学校が見えてきたのですが、神宮寺バイパスを初めて通ったので、どんな学校が遠ざかっていたって、ちょっとあわてました。でも何とか無事に学校に着くことが出来ました。



今現在のわたしの何よりの楽しみは自分が学校にいたときに在学していた子どもたちの活躍を聞くことです。北神小学校出身で活躍している人がたくさんいます。みんなのお兄さんの活躍も嬉しいですね。

こんなこともありました。榮太郎旅館に奈良一刀彫の人形を作っている人が来て見に行ったことがありません。高橋勇二さんという方で、わたしはこの方の作る人形が大好きです。

高橋勇二さんは北楯岡出身の方です。こつこつ努力して日本で有名な奈良一刀彫の人形を作る人になりました。

この人形を見に行ったときに私が来たとき六年生だった、高橋梓さんが来ていました。よく聞いてみると、高橋勇二さんは梓さんのおじさんだったそうです。スポーツだけでなく文化でもがんばっている人がいるのは嬉しいことです。

北神小学校に勤務していたときの思い出といえ、わたしは校長室に来る子どもが大好きでした。毎日一番早く学校に来るようにしました。いつも一番早く学校に来る子どもた

ちがいて、その子どもたちよりも早く来るようにしました。

【黒川】 今日シンポジウムに参加している五・六年生のみなさんは石山校長先生に二・三年生のころお世話になっていましたね。では次に第十三代 P T A 会長を勤められた鈴木さんにもお話を聞きたいと思えます。

### 鈴木

私自身は、北楯岡小学校にも北神小学校にも入りました。昭和三十五年の合併のときは、全員参加で移動しました。ものすごい吹雪の中移動したのを覚えています。自分でどこを通っているのかわからないほどの吹雪でした。とてもつらい記憶として残っています。

P T A 会長になってからは、学校の改修問題があって、新築するときには、子どもたちに親しみやすい学校にしようかとがんばりました。

船の形の学校、そして子どもたちが遊べるような山も作りました。さらに和太鼓の寄贈もあり、当時の校長先生から 太鼓をどうしたらいいか 相談を受けました。そこで、子どもたちに太鼓をやってもらおうと思ひ、楽譜をかいてもらいました。今でも北神太鼓として続いているのが嬉しいです。

【黒川】 子どもたちの遊んでいる山を作ってくれたり、北神太鼓の始まりにかかわっていたり、学校のために本当にいろいろなることを頑張ってくださいののだと感じます。

最後に北神小学校一期生の伊藤さんにお話をうかがいたいと思います。

【伊藤】 実はわたしは、自分が卒業証書一番だったことを知りませんでした。卒業証書も探してみたのですが残っていませんでした。

当時五・六年生は平和中学校の校舍を間借りして勉強していました。他の学年は公民館でやっていました。平和中学校から引越しのときは、

六・七人の班で机をそりで運びました。

このときはまだ体育館と音楽室はありませんでした。でも売店がありました。北楯岡と神清水が統合したとき、一・六年生は二クラスになりました。わたしは六年間で七人の先生に習いましたが、そのうちの六人の方はまだご健在です。

当時の校長先生は九十七歳で去年なくなりました。中山先生という方ですが、毎日オートバイで通っていました。

卒業式は、一・三年生のいる二階教室を通り、二階の廊下でやりました。



さて、北楯岡には、野球をやった活躍した人がたくさんいます。今日のシンポジストである真捺さんのおじさんも大農でピッチャーとして活躍しました。緑の会の石山さんと同年代になります。

昭和四十三年、大農が甲子園に行ったとき活躍した四番の伊藤さんは今五年生の朱利さんのおじさんです。ほかにも、野球で活躍したたくさん北楯岡のOBがいます。私も野球が大好きで小学校の頃から野球をやっていました。

【黒川】 私も小・中学生の頃から野球をやっているの、久さんという名前は本当によく耳にしていました。

## 第一部 未来に向かって「期待」

**黒川**  
ここから第二部を始めたいと思います。はじめに、石山さんに未来に向かって子どもたちにお話をしていただきます。

**石山**  
北神小学校の子どもは、来年から神宮寺小学校の子どもたちと一緒にあります。わたしは北神小学校と神宮寺小学校両方にいたことがあるので、両方の子どもたちのいいところが分かります。

北神の子はたくましい。雨の日でも傘も差さずに歩いて学校に来ます。また地藏っ子祭りというお祭りもお祭りは子どもたちだけでやり

子どもたちに昨日何をして遊んだのかを聞くと、きのうはでごひきした。大根をとった。自分の家のハウスを手伝った」という答えが返ってきます。本当に、たくましいです。北神の子は規則正しい生活が送られています。はやね・はやおき・あさごはんが徹底されているからだと思います。

北神の子は片付けが上手です。校長室に遊びに来たときは後片付けを忘れずにやっています。神宮寺の子も北神の子も、どちらも仲良くなる力はすぐれています。立派な神岡小学校生になって平和中学校に進んでほしいと思います。

**黒川**  
子どもたちにエールを送っていただいたところで、子どもたちからも、自分の夢を聞いてみたいと思います。真捺さん、どうですか。

**真捺**  
わたしの将来の夢は美容師です。



**杏里**  
わたしはまだ将来の夢は決まっていませんが、中学校で勉強と部活の両立に努めたいです。

**梅斗**  
ぼくはプロ野球選手になりたいです。

**榮々子**  
わたしは、絵を描くことが好きなので、漫画家になりたいです。

**真琴**  
わたしはまだ将来の夢は決まっていませんが、どんな夢でも実現できるように勉強をがんばりたいです。



**翔**  
ぼくも、将来の夢はまだ決まっていませんが、勉強をしっかりとがんばりたいです。

**宋莉**  
わたしは獣医さんになりたいです。そのために理科を特になんばりたいです。

**黒川**  
子どもたちにたくさんの夢を話してもらいました。プロ野球の選手になりたいという海斗さんに、伊藤さんから何かアドバイスをしてもらっていいでしょうか。

**伊藤**  
大切なのは夢を持つことです。そして、とにかく基本練習の反復、これが大事です。それを繰り返してやることで、プロ野球選手、もしくはそれに近い選手になれると思います。海斗くんはお父さんも熱心で恵まれた環境にあります。がんばってください。

**黒川**  
私は何かで聞いたことがあります。夢は一つでなくていい。二つ目の夢もあっていい。夢に向かってがんばってほしいです。

鈴木さんの夢はどんなものだったのでしょうか。

**鈴木**  
私たちは農家だったので跡をつげばいいと思っている人もいました。確かに夢は一つじゃなくていい、どんな夢を一つでもいいと思います。

何のために勉強をすればいいのか、どうして勉強をするのか疑問に思うかもしれないですが、大人になって思うことは、自分が勉強したことによって無駄ではなかったということですね。ただ、常に100%ではなくて、80%くらいは力で勉強をするのが丁度いいと思います。

わたしは、裁縫の時間にやった玉どめがなかなかできなかったことをよく覚えてます。楽しめたものよりも苦勞して体を使ったものはよく覚えているものです。体も頭も八部目てがんばりましょう。



**黒川**  
光先生や玲子先生が、逆上がりのために手の皮がむけるまでがんばったという話をしました。このようながんばりが大切なのでしょう。

### フリートーク

**黒川**  
第一部、第二部を終え、これからフリートークに入りたいと思います。

わたしは子ども頃といえ、猛吹雪のときは早く帰れるのが嬉しかったというのをよく記憶しています。また、昭和四十七年の水害で一週間学校が休みになったこともよく覚えてます。早く帰ったときや、休みのときに

家で遊ぶのが大好きでした。渡部高人さんのお父さんが良く遊んだのはどんなことでしたか。

**渡部**  
当時ゲームはなく、田んぼで野球をしていました。トランプもやりました。やっぱり野球ばかりやっていました。

**黒川**  
当時は九人いなくても一対一でも野球をやっていましたね。場所も今のようグラウンドがあるわけではなく、田んぼでやるのがほとんどでした。PTAの渡邊会長さんはどうでしたか。

**渡邊**  
わたしは父に似ず、野球は全然だめでした。それでも稲刈り後の田んぼでよく野球をやったものです。

わたしがとても気になるのは、私たちの学年だけ修学旅行が松島ではなく、十和田湖だったことです。わたしの前の学年も、次の学年も松島だったのに、なぜなのか当時の先生に聞いてみたいですね。

**黒川**  
たしかに、どうしてだったのか気になりますね。

私が修学旅行で思い出に残っていることといえはお土産です。ヤドカリやミドリガメをよく買ったものですが、その中に買った人はいませんか？ お父さん方数人挙手）  
今ではほとんど見られなくなりましたね。

### まとめ

**黒川**  
今日のシンポジウムではたくさんのお話を聞いていただきました。シンポジストの皆様や参加してくださった皆さん、ありがとうございました。

最後に総務部長の井上さんにもお話を聞き、シンポジウムを終えたいと思います。

**井上**  
北神小といえは合羽、そして集団登校です。昔は、冬、おそろいの毛糸の帽子をかぶって登校していました。男の子が黄色と黒で女の子が黄色と赤の帽子でした。



当時の登校班での決まりにもいろいろなものがありました。ガードレールいくぶん離れるとか、登校班は七人こえると二つの班にするとか。



昔は、冬になると人が踏んだ雪のあとを歩いたものでした。それでも学校に来るのは楽しかったです。給食は、おいしい！って食べました。学校は楽しいところでした。子ども達が楽しめるのは、先生方、地域の方々のおかげです。

北神小学校の記憶が記録となり、歴史となりました。そうやって人々が結ばれたのです。

今日はありがとうございました。

**終了**